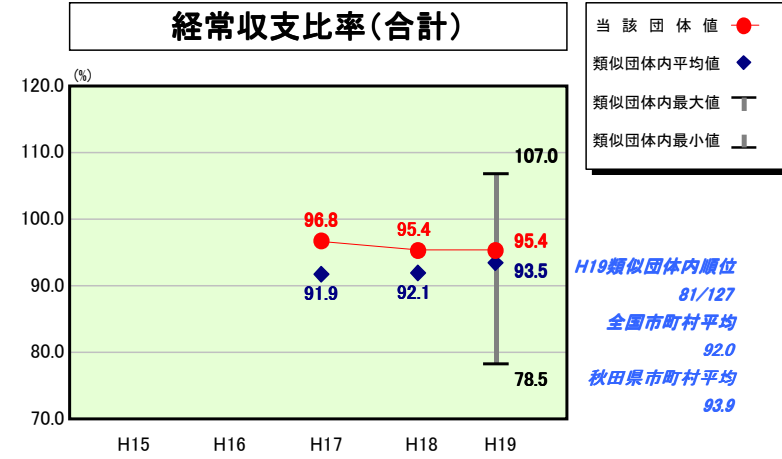


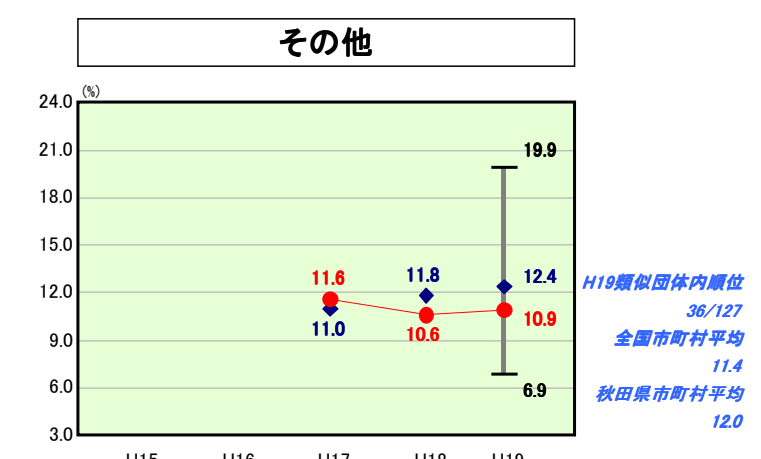
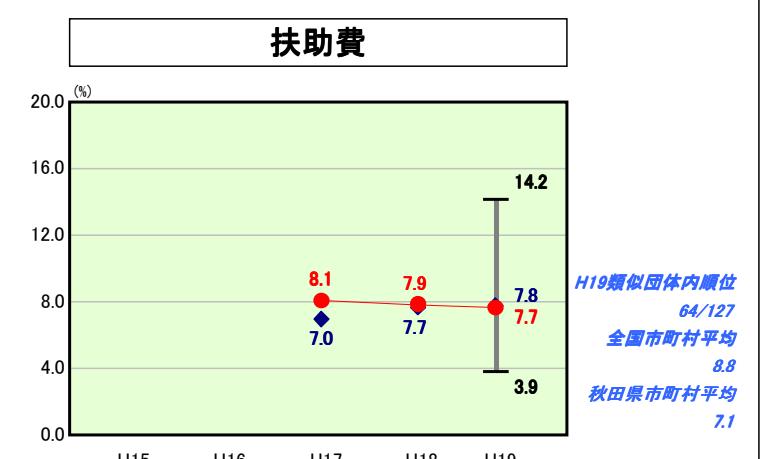
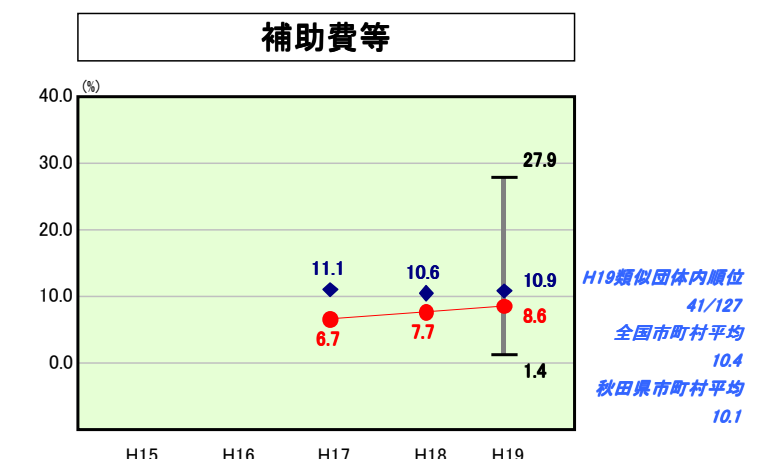
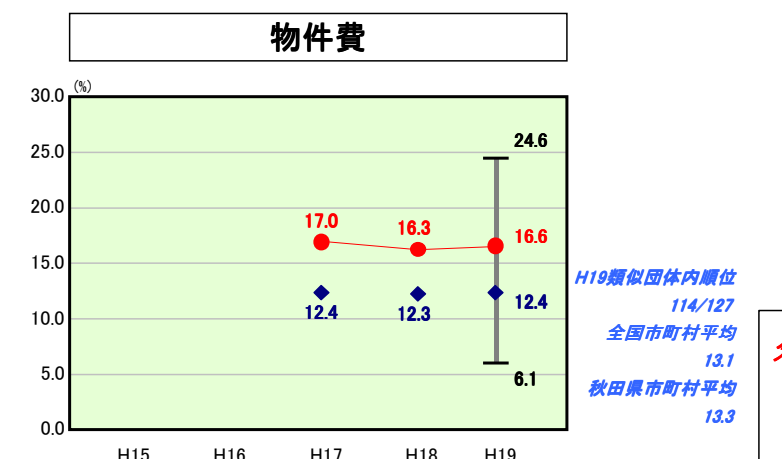
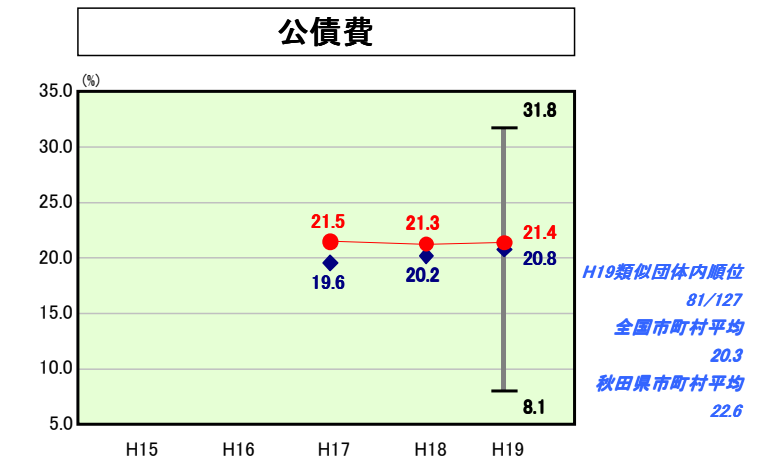
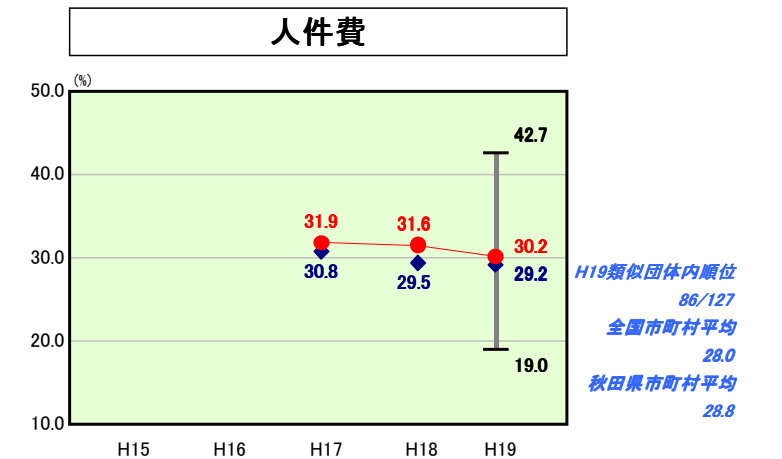
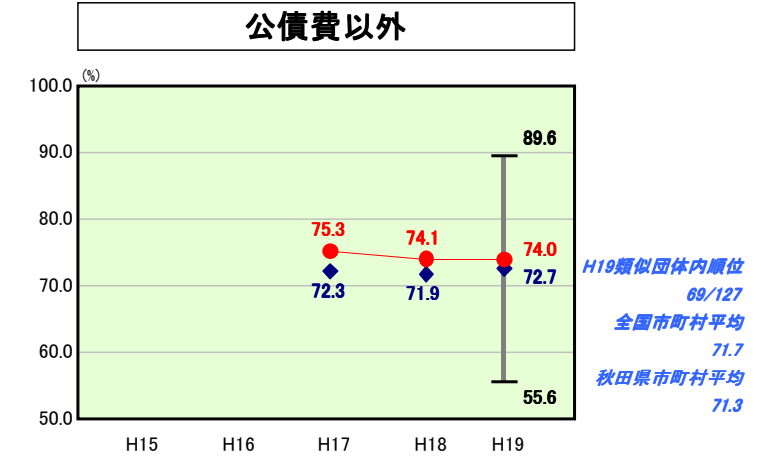
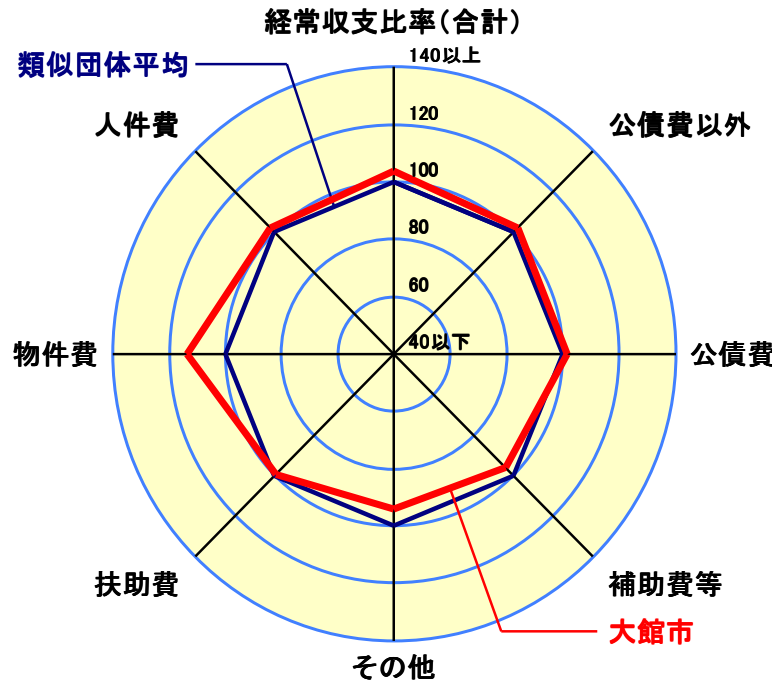
# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

秋田県 大館市

## 経常収支比率の分析



人口	82,149人(H20.3.31現在)
面積	913.70 km <sup>2</sup>
歳入総額	33,088,465千円
歳出総額	32,228,477千円
実質収支	752,498千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**人件費:**  
30.2%で類似団体平均を1.0%上回っているものの、経年変化を見ると毎年度減少してきている。人口1,000人当り職員数は9.43人で類似団体平均の8.23人を上回っており、人口一人当たりの決算額83,034円(類似団体76,156円)も上回っている。類似団体に比べて比率が高いため、人件費に要する一般財源が多い状況といえる。抑制策としては、集中改革プラン取組実施で職員定員を適正規模に推移させるべく、退職不補充等により職員採用の抑制に努めている。

**物件費:**  
物件費の経常収支比率は16.6%で前年度より0.1%高くなったものの経年変化を見るとH17年度に比べて0.4%改善している。指定管理者の導入、管理業務の民間委託等により委託料(物件費)の削減効果が出ているところである。今後も指定管理者の導入推進、施設運営形態の見直し、同種施設の統合等によりコスト削減に努めていく。

**扶助費:**  
扶助費に係る経常収支比率は7.7%で類似団体(7.8%)とほぼ同程度である。扶助費の内、生活保護費の額が年々増加傾向にあるため、資格審査等の適正化に努めていく。

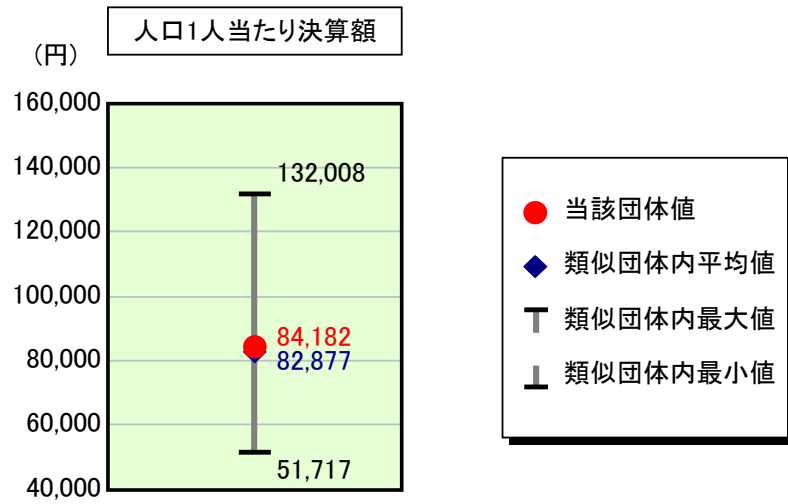
**公債費:**  
21.4%で類似団体平均を0.6%を上回っているものの、償還額のピークはH21年度と予測しているところである。新規の市債普通建設事業を峻別、抑制しながら事業費の平準化を図る。

**補助費等:**  
補助費等に係る経常収支比率は8.6%で、類似団体(10.9%)や全国平均、県平均を下回っている。市の各種団体への補助交付金の見直し実施などにより経費削減が図られたことによる。一方で、企業会計への負担金補助金も年々増加傾向にあるため、企業への経営改善・健全化を求め、負担額の適正化を図る。

# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

秋田県 大館市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

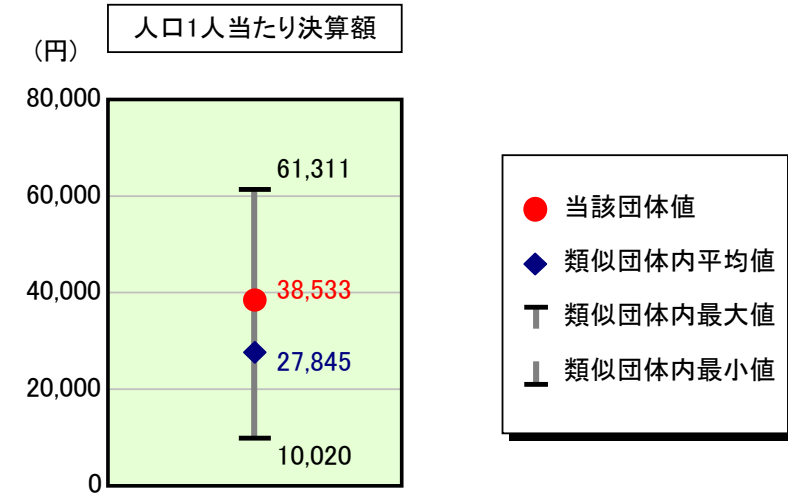
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	6,821,191	83,034	76,156	9.0
賃金(物件費)	254,412	3,097	3,509	▲ 11.7
一部事務組合負担金(補助費等)	29,546	360	6,459	▲ 94.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	73,587	896	922	▲ 2.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	240	3	3	0.0
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	276,422	3,365	3,029	11.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	212,726	2,590	1,632	58.7
▲退職金	▲ 752,660	▲ 9,162	▲ 8,834	3.7
合計	6,915,464	84,182	82,877	1.6

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.43	8.23	1.20
ラスパイレス指数	97.1	97.3	▲ 0.2

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

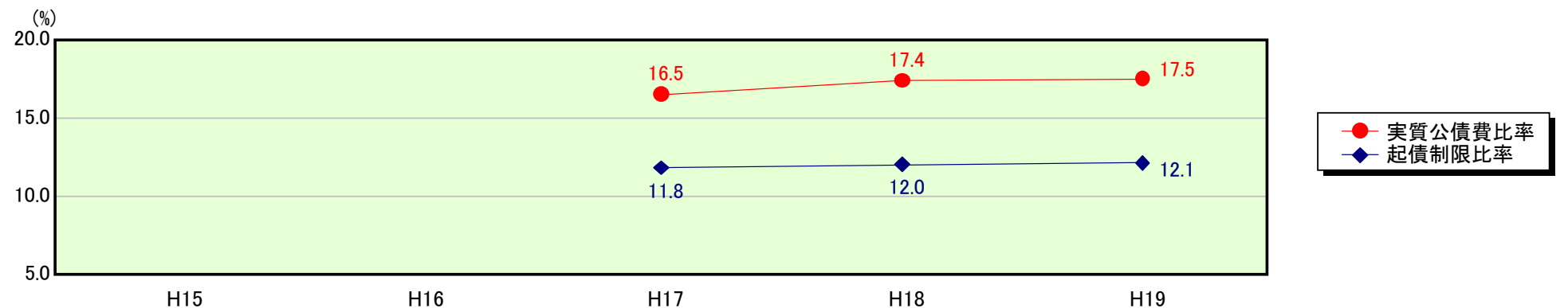


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	4,250,260	51,738	43,825	18.1
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	26	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,819,825	22,153	12,727	74.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	-	-	4,402	-
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	196,779	2,395	2,098	14.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	34	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,101,431	▲ 37,754	▲ 35,265	7.1
合計	3,165,433	38,533	27,845	38.4

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

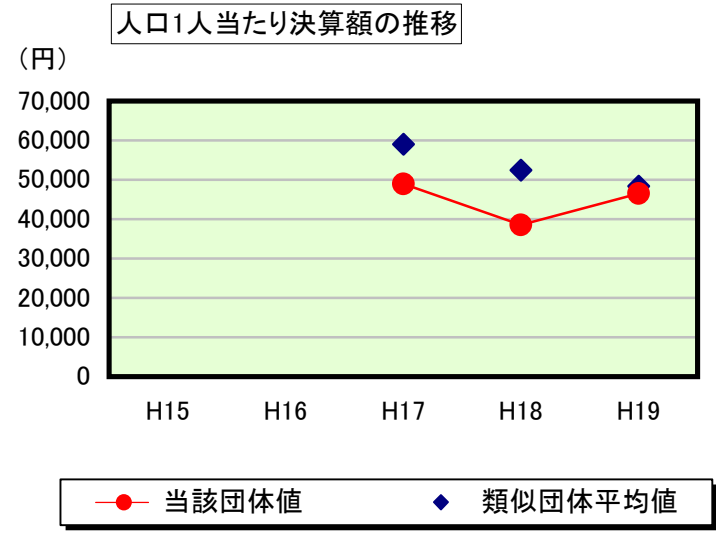
### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

秋田県 大館市

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	4,119,980	48,961	-	59,039	-	-
うち単独分	2,280,709	27,104	-	34,986	-	-
H18	3,206,400	38,576	▲ 21.2	52,453	▲ 11.2	▲ 10.0
うち単独分	2,339,572	28,148	3.9	30,509	▲ 12.8	16.7
H19	3,822,720	46,534	20.6	48,408	▲ 7.7	28.3
うち単独分	2,592,329	31,556	12.1	26,937	▲ 11.7	23.8
過去5年間平均	3,716,367	44,690	▲ 0.3	53,300	▲ 9.5	9.2
うち単独分	2,404,203	28,936	8.0	30,811	▲ 12.3	20.3